

日本岩石鉱物鉱床学会平成17年度通信総会記事

本会の平成17年度総会は、平成18年10月2日(月)～平成18年10月15日(日)の期間内での通信(郵送)投票によって行われた。その結果、以下の通り臨時総会は成立し、報告事項および議題はすべて承認・可決された。

ハガキ発送総数：669(全会員数678名、海外在住9名除く)

返送総数：191(総会成立は会員数の1/10以上)

有効投票数：190

内訳：賛成：145+会長に委任：45+反対：0

無効投票数：1

なお、通信による総会となった経緯については最後に付記として記す。

・報告及び承認事項

1. 庶務、行事、会計並びに編集に関する報告

平成17年度における下記の報告が庶務常務委員(小山内)、JMPS副編集委員長(榎並)、GKK編集委員長(藤巻)、会員常務委員(平島)、行事常務委員(榊原)、会計常務委員(工藤)、IMA連絡委員(大谷)の報告のもと評議員会の承認を経て作成された以下の内容の文書により行われた。

(1) 日本岩石鉱物鉱床学会平成16年度総会並びに学術講演会が平成17年9月22日(水)～24日(土)愛媛大学城北キャンパスにおいて開催された。日本岩石鉱物鉱床学会平成17年度臨時総会が平成18年7月23日(日)神戸国際会議場で開催された。2006年地球惑星科学関連学会合同大会は5月14日(日)～18日(木)幕張メッセ国際会議場で開催された。

(2) 評議員会4回、常務委員会2回を随時開催した。

(3) 平成18年9月30日現在の会員数は、正会員491名(含海外8名)共通会員119名、大学院・学生会員37名、永年会員28名(海外1名、共通6名)、名誉会員4名(共通2名)、特別会員7件(内共通1件)、購読会員53件(内共通会員27件)海外購読会員1件、海外交換寄贈61件(内JMPS12名、CAS1件、ISI1件、共通11件)、国内交換9件(共通2件)、国内寄贈7件(共通4件)を含め合計817件。平成17年度中の(平成17年9月14日～平成18年9月30日まで)の入会者は正会員9名、大学院・学生会員9名、復活6名の24名。退会者は正会員30名、不明2名、除籍22名の計54名。平成18年度からの永年会員は勝井義雄、黒田吉益、根本守、藤本雅太郎、八島隆一各会員の計5名。

(4)・JMPS報告：101巻4号(8月号)発行済。5号(10月号)納本待ち。6号(12月号)、102巻1号(2月号)、2号(4月号)まで印刷中。3号(6月)まで受理論文確保済み。現在査読中の投稿論文28編(IMA Letters投稿含む)。今年度から学会発表講演をLetterとして投稿する企画を始めた。JMPSがJSTのアーカイブ事業に採択されたので前身誌の旧岩鉱誌などが創刊号に遡り電子化される。JMPS100巻5号(10月)～101巻4号(8月)6号分の掲載内容は、Reviews8件83p、Articles16件207p、Letters0件0p、Min. Abst.121件26p、Editorial4p、Errata0件0p、投稿規程18p、Index3p、Contents、3p、白頁4p合計348p、1号平均58p。

・GKK報告：35巻4号(7月号)発行済み。5号(9月号)印刷未定。現在岩鉱学会編集グループ扱い投稿論文は7編。旧岩鉱の90巻から最終号95巻3号までが科研費補助金により電子ジャーナル化され更に、上記JMPSがJSTのアーカイブ事業採択されたことによりJMPSの前身誌である89巻以前の岩鉱学会誌全巻も創刊号まで来年度中に電子化公開される。そのWEB公開にあたり

問題となる著作権処理について当面「岩鉱学会HPと学会誌に会告する」ことで対応することが既に編集委員会、評議員会で承認されたとの報告。岩鉱物科学34巻5号(9月)～35巻4号(7月)6号分の掲載内容は、原著論文12件(内岩鉱G10件)128p、短報1件(内岩鉱G1件)4p、総説6件(内岩鉱G6件)69p、解説・資料4件(内岩鉱G0件)39p、総目次3p、新刊紹介9件5p、ニュース(他学会案内、教官公募等)1p、学会記事(評議員会・総会議事録、研連議事録等)70p、広告13p、白頁6p合計338p、1号平均頁56p。

2. 平成18年度会長、評議員選挙結果報告

投票用紙配布総数685、投票総数226(有効票数226で次の諸氏が選ばれた。

会長：板谷 徹丸

平成18年度評議員

(任期2年：平成18年9月1日～平成20年8月31日：15名)

阿部なつ江 荒井章司 有馬 眞 石渡 明 榎並正樹
小畑正明 大谷栄治 貴治康夫 佐藤博明 土山 明
富樫茂子 馬場 敬 林信太郎 廣井美邦 宮下純夫

<次点> 中川光弘(継続評議員欠員1名の補充、任期1年)

<次次点> 外田智千

平成18年8月31日開票

選挙管理委員会委員長 土屋範芳

選挙管理委員会委員 後藤章夫 宮本 毅 鈴木昭夫 栗林貴弘

3. 平成17年度会計決算報告及び会計監査報告

第1表のように9月22日に会計監事による会計監査を受けた決算を報告。

4. 平成18年度会計監事の承認

評議員会より推薦された長瀬敏郎(新規2年)、後藤章夫(継続任期残1年)の両会員が承認された。

5. その他

IMA2006-Kobe 報告：岩鉱学会も主催したIMA2006-Kobeが成功裏に終了し、会期中には平成17年度岩鉱学会臨時総会を開催し、日本鉱物学会との統合について承認した。その結果、2007年9月に統合学会「日本鉱物科学会」が発足予定である。

・審議事項

1. 平成18年度事業計画

2007年地球惑星科学連合大会は、2007年5月19日(日)～24日(木)に、幕張メッセ国際会議場(全館)にて開催予定であり、岩鉱学会から正プログラム委員とし角替敏昭会員、副プログラム委員として高橋 浩会員を選出した。また、平成18年度岩石鉱物鉱床学会総会ならびに学術講演会を、2007年9月22日(土)～24日(月)に、東京大学本郷キャンパスで開催予定である。

2. 平成18年度予算案

第2表のような予算案を提示した。

<付記>

通信による総会となった経緯について

例年秋に開催している岩鉱学会学術講演会の平成17年度開催は、今年の7月に行われたIMA2006-Kobeに代替開催した。このことによる平成17年度総会の実施方法については、一昨年の総会(愛媛大学9月23日開催)で通信手段を利用する下記時限的付則が審議、承認されている。(詳細は岩石鉱物科学34巻6号309頁評議

員会議事録および総会記事を参照。)

----- 会則 運営細則 第1条「総会」に関する時限的付則 -----

1. 平成 17 年度は通常総会を開催しない。
 2. 通常総会で行われる第 1 条(4)議事に関する報告および審議事項は、通信手段を利用して議決される。
 3. 議題は評議員会の承認を経て、会長から提案される。
 4. 正会員は会長に議決権を委任することができる。
 5. 議決は委任状を含め通常総会の成立と同様に全会員数の 10 分の 1 以上の会員による投票を必要とし、投票者の多数決による。
 6. 本細則は本会運営の平成 17 年度に適用し、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。
-